

## 地域子ども・子育て支援事業に関する提供区域の設定及び 量の見込みと確保方策(案)

### 【放課後児童健全育成事業】

提供区域は小学校区ごとに設定します。量の見込みについては次のように補正しました。

・補正前の量の見込みが利用実績をやや上回っている場合→補正なし

・補正前の量の見込みが利用実績を下回っている又は大きく上回っている場合→実績をもとに補正

確保方策の数値は、クラブの定員を基本として算出しましたが、市が制定予定の基準条例の面積要件を満たさない場合は、面積要件を満たすための人数で算出しました。また、定員を上回る児童の利用実績がある場合は、面積要件を満たすことを条件に、利用実績をもとに算出しました。

なお、確保方策については、今後、各クラブとの調整が必要となる学校区もあります。また、計画年度当初に確保方策の数値が量の見込みを下回る学校区については、需要を見ながら計画年度途中で提供体制を整えていきます。

単位:人

本庄東小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	299	290	288	277	271
量の見込み(補正後)	78	76	75	72	71
確保方策	80	80	80	80	80

【参考】月平均実利用者数(3クラブの計) 平成25年度76人 平成24年度78人 平成23年度74人

確保方策:いずみクラブ30人(定員) + 日の出学童保育室25人(定員) + 寿学童保育室25人(定員)

本庄西小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	122	116	104	96	84
量の見込み(補正後)	69	69	69	69	69
確保方策	69	69	69	69	69

【参考】月平均実利用者数 平成25年度68人 平成24年度69人 平成23年度69人

確保方策:学童保育所みらい69人(利用実績)

藤田小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	90	91	90	85	74
量の見込み(補正後)	40	40	40	38	33
確保方策	25	25	40	40	40

【参考】月平均実利用者数 平成25年度22人 平成24年度15人 平成23年度24人

確保方策:藤田学童保育室25人(定員25人のため、27年度以降の需要をみながら供給体制を整えていく。)

仁手小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	23	21	23	28	26
量の見込み(補正後)	47	43	47	57	53
確保方策	47	47	47	60	60

【参考】月平均実利用者数 平成25年度42人 平成24年度40人 平成23年度47人

確保方策:学童保育わかさ47人(利用実績)

旭小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	127	125	111	101	91
確保方策	104	104	104	104	104

【参考】月平均実利用者数(2クラブの計) 平成25年度100人 平成24年度104人 平成23年度70人  
 ※H24年度に1施設増加  
 確保方策:ちびっこステーション1号館・2号館 計104人(利用実績)

北泉小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	32	34	37	39	41
量の見込み(補正後)	69	73	78	84	88
確保方策	100	100	100	100	100

【参考】月平均実利用者数 平成25年度69人 平成24年度65人 平成23年度64人  
 確保方策:恵アフタースクール70人(定員) + H27年度1施設増加予定 約30人

本庄南小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	52	51	54	57	57
確保方策	71	71	71	71	71

【参考】月平均実利用者数 平成25年度47人 平成24年度52人 平成23年度52人 ※H26年度に1施設増加  
 確保方策:童夢館竹の子40人(定員)  
 + じいじとばあばの宝物31人(定員35人だが、面積要件を考慮し31人で計算)

中央小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	287	289	300	303	293
量の見込み(補正後)	85	86	89	90	87
確保方策	97	97	97	97	97

【参考】月平均実利用者数(3クラブの計) 平成25年度85人 平成24年度78人 平成23年度53人  
 ※H24年度に1施設増加  
 確保方策:キッズスペースBaika34人(利用実績) + ほほえみKidsクラブ38人(利用実績)  
 + 前原学童保育室25人(定員)

児玉小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	104	102	103	108	107
確保方策	119	119	119	119	119

【参考】月平均実利用者数(2クラブの計) 平成25年度89人 平成24年度75人 平成23年度76人  
 確保方策:むさし元気学童保育所59人(利用実績)  
 + つくしんぼ学童保育クラブ60人(定員69人だが、面積要件を考慮し60人で計算)

金屋小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	60	58	56	52	51
確保方策	47	47	55	55	55

【参考】月平均実利用者数 平成25年度49人 平成24年度48人 平成23年度58人  
 確保方策:ひまわり学童保育クラブ47人(50人を超える利用実績あるが、面積要件を考慮し47人で計算)  
 27年度以降の需要をみながら供給体制を整えていく。

秋平小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	44	44	38	42	48
確保方策	48	48	48	48	48

【参考】月平均実利用者数 平成25年度39人 平成24年度37人 平成23年度28人  
 確保方策:あおぞら学童保育クラブ48人(利用実績は約40人だが、面積要件では48人まで可)

共和小学校区	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	16	16	16	15	15
量の見込み(補正後)	49	49	49	46	46
確保方策	56	56	56	56	56

【参考】月平均実利用者数 平成25年度49人 平成24年度39人 平成23年度42人  
 ※平成27年度に1施設増加の見込み  
 確保方策:きらきら学童保育クラブ36人(定員50人だが、面積要件を考慮し36人で計算)  
 + H27年度1施設増加予定 約20人

【地域子育て支援拠点事業】

主な利用者は就園前児童家庭の親子となるため、提供区域は教育・保育提供区域と同様に3分割とします。  
 [本庄地域(高崎線以北)]

量の見込みが実績値を大きく上回っています。これは、「現在この事業を利用していないが、今後利用したい」と回答した人が多いためです。しかし、両親が共働きの家庭で利用希望日数を多めに回答している人が比較的多いため、実際の利用は見込み数値より低くなると考え、量の見込みを補正します。補正後の数値は、両親が共働きの家庭の利用希望日数を本庄地域(高崎線以南)と同程度であるとみなして算出しました。

この場合、事業実施施設の収容人数を考慮すると、平成27、28年度は、提供量が補正後の量の見込み数をやや下回る計算となります。しかし、量の見込みが実績を大きく上回っていること、見込み量が減少していくことを考慮し、平成27年度当初の確保方針は現状のままとし、その後の利用傾向をみながら対応したいと考えております。

[本庄地域(高崎線以南)及び児玉地域]

量の見込みが実績値をやや上回っていますが、各事業所が1開催あたり最大で数名程度の利用者を増やすことで対応可能と考えます。

この事業は、ニーズ調査結果から、土・日曜日に育児相談や交流の場がほしいといった意見もあることから、今後は土・日曜日の事業実施も検討していく必要があります。

量の見込みの単位: 人日 確保方針の単位: 箇所

本庄地域(高崎線以北)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	18,780	17,196	16,608	16,260	16,020
量の見込み(補正後)	15,744	14,412	13,920	13,632	13,428
確保方針	2	2	2	2	2

【参考】実利用者数 平成25年度6,197人 平成24年度7,064人 平成23年度7,791人

本庄地域(高崎線以南)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	16,536	16,344	15,828	15,372	14,916
確保方針	3	3	3	3	3

【参考】実利用者数 平成25年度14,160人 平成24年度14,548人 平成23年度12,600人

児玉地域	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	19,968	19,008	18,300	17,520	16,572
確保方針	4	4	4	4	4

【参考】実利用者数 平成25年度12,089人 平成24年度11,414人 平成23年度12,942人

※平成27年度に1施設増加の見込み

【一時預かり事業(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり)】

園で実施する事業のため、提供区域は教育・保育の提供区域と同様に3分割とします。

本庄地域は、利用実績と比較すると現実的な量の見込みとなっていますが、児玉地域は、利用実績が少なく、量の見込みが利用実績の約20倍となっています。そのため、児玉地域については量の見込みを補正します。

児玉地域の園では、在園児の数に対する延べ利用者数の割合が、本庄地域の園に比べて少ないが、児玉地域においても、本庄地域と同程度に見込み、補正後の量の見込みを算出しました。確保方策は、各年度の幼稚園定員数に前述の延べ利用者数の割合を乗じて算出しました。

単位：人日

高崎線以北		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量 の 見 込 み	1号認定による利用	2,309	2,281	2,236	2,217	2,030
	2号認定による利用	9,813	9,695	9,507	9,421	8,632
	合計	12,122	11,976	11,743	11,638	10,662
確保 方 策	一時預かり事業 (在園児対象型)	12,628	12,628	12,628	12,628	12,628

【参考】一時預かり事業延べ利用者数 平成25年度15,381人

高崎線以南		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量 の 見 込 み	1号認定による利用	4,622	4,267	4,184	3,975	3,931
	2号認定による利用	10,357	9,563	9,376	8,910	8,809
	合計	14,979	13,830	13,560	12,885	12,740
確保 方 策	一時預かり事業 (在園児対象型)	15,260	15,260	15,260	15,260	15,260

【参考】一時預かり事業延べ利用者数 平成25年度14,072人

児玉地域		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量 ( 補 正 前 の 見 込 み)	1号認定による利用	243	235	225	214	205
	2号認定による利用	6,148	5,935	5,679	5,421	5,190
	合計	6,391	6,170	5,904	5,635	5,395
量 ( 補 正 後 の 見 込 み)	1号認定による利用	115	115	115	115	115
	2号認定による利用	2,899	2,899	2,899	2,899	2,899
	合計	3,014	3,014	3,014	3,014	3,014
確保 方 策	一時預かり事業 (在園児対象型)	4,592	3,444	3,444	3,444	3,444

【参考】一時預かり事業延べ利用者数 平成25年度308人

【一時預かり事業(在園児対象型以外)】

園で実施する事業のため、提供区域は教育・保育の提供区域と同様に3分割とします。量の見込みを算出するための国の算式は、共働き家庭も含まれているため、補正前の量の見込みは利用実績を大きく上回る数値となっています。在園児以外を対象とした一時預かり事業の利用は、家庭での保育者が主であると考えられるため、ひとり親及び共働き家庭を除いた数値を補正後の量の見込みとしました。

確保方策の一時預かり事業(在園児対照型を除く)は、実施園の定員数と実施日から算出し、ファミリー・サポート・センター事業(病児緊急対応強化事業を除く)は、平成25年度の市全体の実績値を各区域ごとの量の見込みの割合で按分して算出しました。トワイライトステイ事業は、現在、本庄市では実施していません。

単位:人日

本庄地域(高崎線以北)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)		6,759	6,355	6,175	6,069	5,829
量の見込み(補正後)		2,790	2,575	2,493	2,443	2,389
確保方策	一時預かり事業 (在園児対象型を除く)	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	ファミリー・サポート・センター事業(病児緊急対応強化事業を除く)	126	126	126	126	126
	トワイライトステイ事業	—	—	—	—	—
	合計	2,526	2,526	2,526	2,526	2,526

【参考】一時預かり事業延べ利用者数 平成25年度1,361人 平成24年度718人 平成23年度1,084人

本庄地域(高崎線以南)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)		8,140	7,911	7,681	7,424	7,231
量の見込み(補正後)		4,715	4,643	4,498	4,366	4,237
確保方策	一時預かり事業 (在園児対象型を除く)	6,240	6,240	6,240	6,240	6,240
	ファミリー・サポート・センター事業(病児緊急対応強化事業を除く)	178	178	178	178	178
	トワイライトステイ事業	—	—	—	—	—
	合計	6,418	6,418	6,418	6,418	6,418

【参考】一時預かり事業延べ利用者数 平成25年度807人 平成24年度521人 平成23年度561人

児玉地域		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)		3,868	3,718	3,560	3,400	3,236
量の見込み(補正後)		1,952	1,876	1,797	1,717	1,634
確保方策	一時預かり事業 (在園児対象型を除く)	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
	ファミリー・サポート・センター事業(病児緊急対応強化事業を除く)	40	40	40	40	40
	トワイライトステイ事業	—	—	—	—	—
	合計	9,640	9,640	9,640	9,640	9,640

【参考】一時預かり事業延べ利用者数 平成25年度684人 平成24年度673人 平成23年度524人

【利用者支援事業】

新規の事業であり、ニーズ調査による量の見込み算出の対象となる事業ではありません。子育て支援に関する相談や助言等を行う専門的な相談員の配置し、利用者支援を実施します。

単位：か所

本庄市全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	—	—	—	—	—
確保方策	1	1	1	2	2